

# 令和2年度当初予算案の概要

長野県企業局

企業局の令和2年度の当初予算案は、長野県公営企業経営戦略の改訂に向け、企業局の経営理念（キャッチフレーズ）である「水の恵みを未来へつなぐ」を具現化し、社会環境の変化や直面する課題に迅速かつ的確に対応するとともに、「しあわせ信州創造プラン2.0」の目標達成、さらに「頻発する大規模災害への対応」と「再生可能エネルギーの供給拡大」の観点から予算案を編成しました。

## 1 予算案の概要

### 【電気事業】

#### (1) 収益的収支

(消費税込み、損益は税抜き)

区 分	令和2年度 (A)	令和元年度 (B)	比 較	
			(A)-(B)	(A)/(B)
収 入	4,092,149千円	4,078,632千円	13,517千円	100.3%
支 出 ①	3,201,243千円	3,036,263千円	164,980千円	105.4%
差 額 ( 損 益 )	890,906千円 (601,231千円)	1,042,369千円 (786,813千円)	△ 151,463千円 (△ 185,582千円)	(85.5%) (76.4%)

(増減の主なもの)

〔収入〕 大鹿第2・小浜第3（発）の固定価格買取制度の適用終了等による料金収入の減	△14,445千円
修繕費等のダム管理費の増加によるダム管理受託料の増	8,116千円
発電所の改修及び建設の本格化に伴う消費税及び地方消費税還付金の増	13,150千円
〔支出〕 横川蛇石（発）の運転開始等による減価償却費の増	45,677千円
大鹿送電線の設置調査及び改修方法検討業務等による委託料の増	37,476千円
裾花（発）出力増強工事等による固定資産除却損及び固定資産除却費の増	38,811千円

#### (2) 資本的収支

(消費税込み)

区 分	令和2年度 (A)	令和元年度 (B)	比 較	
			(A)-(B)	(A)/(B)
収 入	1,935,662千円	2,467,750千円	△ 532,088千円	78.4%
支 出 ②	4,516,304千円	4,387,312千円	128,992千円	102.9%
建設改良費 ③	3,504,972千円	3,338,565千円	166,407千円	105.0%
債務設定額 ④ (既設定分含む)	(36,840,721千円)	(30,355,333千円)	(6,485,388千円)	(121.4%)
差 額	△ 2,580,642千円	△ 1,919,562千円	△ 661,080千円	(134.4%)

(増減の主なもの)

〔収入〕 企業債借入の減	△587,000千円
〔支出〕 美和、春近（発）大規模改修工事に係る建設改良費の増	307,261千円
財務会計事務システム再構築等に係る業務設備整備費の減	△20,807千円
こどもの未来支援積立金に係る他会計繰出金の減	△50,000千円

支出総計①+②	7,717,547千円	7,423,575千円	293,972千円	104.0%
建設改良費+債務設定額 ③+④	40,345,693千円	33,693,898千円	6,651,795千円	119.7%

## 主要事業

既設水力発電所の大規模改修及び新規水力発電所建設の推進による再生可能エネルギーの供給拡大により、気候非常事態宣言に対応するとともに、エネルギー自立分散型で災害に強い地域づくりに取り組みます。

### 〔再生可能エネルギーの供給拡大〕

- ④ 新規電源開発（水力発電所の建設）の推進（既設定分含む）
  - ・ 新規発電所の建設 [1,354,091千円]（債務 7,809,603千円）
  - 水力発電所数を倍増 14箇所（H28）⇒28箇所（R7）発電電力量 1万8,400世帯（18.5%）分増
- ④ 既設水力発電所の大規模改修等の推進（既設定分含む）
  - ・ 既設発電所の大規模改修 [800,900千円]（債務 29,031,118千円）
  - 既存水力発電所の7割を大規模改修・出力増強（R7までに運転開始予定）
  - ・ 裾花（発）出力増強 [669,977千円]
  - 発電量 5,440万kWh[約15,110世帯分]⇒5,560万kWh[約15,440世帯分] 2021年度運転開始予定
- ⑤ 太陽光発電・蓄電システム整備事業
  - ・ 川中島庁舎等における、太陽光パネル、燃料電池（水素ステーション活用）、蓄電池の整備 [23,905千円]

### 〔地域への貢献〕

- 売電を通じた「電力の地消地産」と「大都市との連携」の推進
- 水の恵みを未来へつなぐ交付金 [30,000千円]
  - ・ 企業局の水力発電所所在市町村における先端技術を活用した取組を支援
- 電気事業利益を活用した地域貢献（一般会計への繰出し） [450,000千円]
  - ・ 地方創生積立金からの繰出し（県立高等学校のICT基盤整備支援） [400,000千円]
  - ・ 省エネルギー推進支援積立金からの繰出し（信濃美術館の省エネルギー設備整備支援） [50,000千円]

### 〔エネルギー自立分散型で災害に強い地域づくり〕

- ⑤ 地域連携水力発電マイクログリッド構築事業 [14,850千円]
  - 《令和元年台風第19号災害を踏まえた大規模災害対策強化》
- ⑤ 非常用移動電源設備整備 [30,360千円]
- ④ 監視カメラ増強による遠隔監視体制の強化 [事業費はスマート保安推進事業に含む]
- ⑤ ダム等の映像公開による地域住民等へのリアルタイムな情報発信

### 〔先端技術の活用〕

- ④ しごと改革・働き方改革の推進（電気事業・水道事業共通） [26,859千円]
  - ・ モバイルPCの現地機関職員への配布、予算・決算事務等へのRPA導入
- ⑤ AI・IoTを活用したスマート保安推進事業 [55,000千円]

### (3) 業務の予定量

項 目	令和2年度	令和元年度
発 電 所	17所	16所
最 大 出 力	101,197kW	100,998kW
年 間 販 売 電 力 量	340,078千kWh	335,965千kWh
料 金 収 入	3,742,116千円	3,756,561千円

## 【水道事業（末端給水事業及び用水供給事業）】

### (1) 収益的収支

(消費税込み、損益は税抜き)

区 分	令和2年度 (A)	令和元年度 (B)	比 較	
			(A)-(B)	(A)/(B)
収 入	5,675,026千円	5,660,035千円	14,991千円	100.3%
支 出 ①	5,201,488千円	5,171,365千円	30,123千円	100.6%
差 額 ( 損 益 )	473,538千円 (223,694千円)	488,670千円 (253,910千円)	△ 15,132千円 (△ 30,216千円)	(96.9%) (88.1%)

(増減の主なもの)

〔収入〕 消費増税に伴う水道料金収入の増	53,824千円
〔支出〕 送水幹線の更新要否検討のための内面調査委託料の増	23,200千円

### (2) 資本的収支

(消費税込み)

区 分	令和2年度 (A)	令和元年度 (B)	比 較	
			(A)-(B)	(A)/(B)
収 入	1,920,075千円	2,047,136千円	△ 127,061千円	93.8%
支 出 ②	4,635,299千円	4,495,092千円	140,207千円	103.1%
建設改良費 ③	3,092,137千円	2,945,552千円	146,585千円	105.0%
債務設定額 ④ (既設定分含む)	(1,026,400千円)	(650,000千円)	(376,400千円)	(157.9%)
差 額	△ 2,715,224千円	△ 2,447,956千円	△ 267,268千円	(110.9%)

(増減の主なもの)

〔収入〕 工事負担金の減	△147,261千円
〔支出〕 (末端) 施設、設備及び管路の老朽化対策に伴う工事費の増	275,563千円
(用水) 豪雨等による高濁度対策の推進に係る工事費の増	80,000千円

支出総計①+②	9,836,787千円	9,666,457千円	170,330千円	101.8%
建設改良費+債務設定額 ③+④	4,118,537千円	3,595,552千円	522,985千円	114.5%

## 主要事業

水道法改正を踏まえた広域化・広域連携を推進するとともに、未来に向けた施設・人材への着実な投資を行い、持続可能な水道事業経営による安全、安心な水道水の安定的な供給体制の確立に取り組みます。

### 〔広域化・広域連携の推進〕

○ 市町村水道事業者との連携の推進・支援の強化〔480千円〕

- ・ 関係市町村等との水道事業広域連携推進協議会（仮称）の設置等

### 〔地域への貢献、地域との共存・共栄〕

⑨ 広域化シミュレーションに向けた管網解析モデルの構築〔末端 1,474千円〕

### 〔大規模災害への備え〕

⑨ 令和元年台風第19号災害を踏まえた浸水対策の推進〔8,500千円〕

⑨ 豪雨等による高濁度対策の推進〔80,000千円〕

○ 水道施設のダウンサイジングの推進〔5,500千円〕

○ 施設・管路の耐震化の推進〔末端 694,459千円、用水 311,000千円〕

〔末端〕重要給水施設関連配水池

管路延長 6.4km、耐震適合率：R2末 93.7%（目標：100% 2025⇒2024年度）

〔用水〕本山浄水場

管路延長 2.0km、耐震適合率：R2末 88.6%（目標：100% 2024⇒2023年度）

○ 施設、設備及び管路の老朽化対策の推進〔末端 1,055,933千円、用水 402,828千円〕

- ・ 有収率向上対策（VP管布設替工事等）〔末端 278,900千円〕
- ・ 諏訪形浄水場電気室築造工事〔末端 100,000千円〕
- ・ 本山浄水場薬品注入設備取替工事〔用水 310,000千円〕

### (3) 業務の予定量

項 目	末端給水事業		用水供給事業	
	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度
供 給 区 域	長野市、上田市、千曲市、坂城町		松本市、塩尻市、山形村	
給 水 戸 数	78,539戸	77,658戸	—	—
年 間 総 給 水 量	19,102千m <sup>3</sup>	19,337千m <sup>3</sup>	29,555千m <sup>3</sup>	29,646千m <sup>3</sup>
1 日 平 均 給 水 量	52,334m <sup>3</sup>	52,833m <sup>3</sup>	80,973m <sup>3</sup>	81,000m <sup>3</sup>
料 金 収 入	3,622,293千円	3,616,648千円	1,443,461千円	1,434,866千円

(参考)

[末端給水事業]

・収益的収支

(消費税込み、損益は税抜き)

区 分	令和2年度 (A)	令和元年度 (B)	比 較	
			(A)-(B)	(A)/(B)
収 入	4,160,752千円	4,150,586千円	10,166千円	100.2%
支 出 ①	3,900,469千円	3,824,063千円	76,406千円	102.0%
差 額 (損 益)	260,283千円 (89,964千円)	326,523千円 (153,683千円)	△ 66,240千円 (△ 63,719千円)	(79.7%) (58.5%)

・資本的収支

(消費税込み)

区 分	令和2年度 (A)	令和元年度 (B)	比 較	
			(A)-(B)	(A)/(B)
収 入	1,667,075千円	1,864,136千円	△ 197,061千円	89.4%
支 出 ②	3,629,557千円	3,683,100千円	△ 53,543千円	98.5%
建設改良費 ③	2,215,377千円	2,254,832千円	△ 39,455千円	98.3%
債務設定額 ④ (既設定分含む)	(506,400千円)	(570,000千円)	(△ 63,600千円)	(88.8%)
差 額	△ 1,962,482千円	△ 1,818,964千円	△ 143,518千円	(107.9%)
支出総計①+②	7,530,026千円	7,507,163千円	22,863千円	100.3%
建設改良費+債務設定額 ③+④	2,721,777千円	2,824,832千円	△ 103,055千円	96.4%

[用水供給事業]

・収益的収支

(消費税込み、損益は税抜き)

区 分	令和2年度 (A)	令和元年度 (B)	比 較	
			(A)-(B)	(A)/(B)
収 入	1,514,274千円	1,509,449千円	4,825千円	100.3%
支 出 ①	1,301,019千円	1,347,302千円	△ 46,283千円	96.6%
差 額 (損 益)	213,255千円 (133,730千円)	162,147千円 (100,227千円)	51,108千円 (33,503千円)	(131.5%) (133.4%)

・資本的収支

(消費税込み)

区 分	令和2年度 (A)	令和元年度 (B)	比 較	
			(A)-(B)	(A)/(B)
収 入	253,000千円	183,000千円	70,000千円	138.3%
支 出 ②	1,005,742千円	811,992千円	193,750千円	123.9%
建設改良費 ③	876,760千円	690,720千円	186,040千円	126.9%
債務設定額 ④ (既設定分含む)	(520,000千円)	(80,000千円)	(440,000千円)	(650.0%)
差 額	△ 752,742千円	△ 628,992千円	△ 123,750千円	(119.7%)
支出総計①+②	2,306,761千円	2,159,294千円	147,467千円	106.8%
建設改良費+債務設定額 ③+④	1,396,760千円	770,720千円	626,040千円	181.2%

- 注) 1 収益的収支は、主に営業活動に係る収入及び支出を表します。  
また、支出額には減価償却費等の現金支出を伴わないもの(損益勘定留保資金)を含みます。  
2 資本的収支は、主に設備投資に係る収入及び支出を表します。  
なお、収入が支出に対し不足する額は、損益勘定留保資金等で補てんします。  
3 損益は、収益的収支の差額から消費税相当額を控除したものです。

2 事業改善シート

県公式ホームページをご覧ください。

URL : <http://www.pref.nagano.lg.jp/kigyos/kensei/soshiki/yosan/r2/happyo/2ichiran.html>